

平成29年度

尼崎の教職員を支援するために

平成29年度事業計画

平成28年度事業報告

尼崎市教育委員会事務局

教育総合センター
教職員の学び支援課

平成29年度 『尼崎の教職員を支援するために』

平成29年度事業計画

1 教育総合センターの事業について	1
2 研修体系策定の方針	3
3 具体的な取り組み	4
4 研修をすすめるにあたって	6
5 研修体系図 別添参照 P.8	7
6 教育総合センター研修一覧表	9
7 教職員研修計画内容	11
8 教育総合センター研修担当分担表	16
9 文部科学省・県教育委員会等の実施する研修一覧	18

平成28年度事業報告

10 平成28年度研修報告	19
11 平成28年度教育研究部会の概要報告	25
12 児童生徒文化充実支援事業の実施報告	29
13 平成28年度視聴覚センター事業報告	30
14 平成28年度教科書センター事業報告	31
15 平成28年度教育情報の収集・整理事業報告	31

資料

欠席届(様式3) 教職員の学び支援課長 あて	32
------------------------	-------	----

1 教育総合センターの事業について

教育総合センター 教職員の学び支援課は、教職員の研修、教育の情報化の推進及び自主研究グループ支援の3事業を担当するとともに、児童生徒文化充実支援事業を中心に市内小・中学校の教科等研究会と連携し、学力向上に繋がる実践的な取組を支援している。

以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

1 運営方針

兵庫県は、教育の基本計画である「ひょうご教育創造プラン」を策定し、「こころ豊かな自立した人づくり」の基本理念に基づき「確かな学力」の確立、自立心や自律性など、道徳性をはじめとする「豊かな心」の育成、いじめ・不登校対応など子どもたちの「心」を支えるシステムの充実、教職員の資質能力の向上などを目指している。

本市においても、平成25年度から10年間を見通した『尼崎市総合計画』、教育振興基本計画において学校教育施策の展開方向が示され、学校教育に関する重点取組では「教育・学習内容の充実」「心のケア・心の教育の充実」「子どもの健康な体づくり」「安全な教育環境の確保」「家庭・地域・学校の連携推進」を掲げている。

教育総合センター 教職員の学び支援課では、県や市の示した方向性に対応すべく、教職員の資質向上の取組を推進するため、研修体系や教職員の不断の研究と修養を支援する。

2 主な事業の概要

教育総合センター 教職員の学び支援課には研修・情報教育・自主研究グループ支援の3つの担当があり、それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。

<教職員研修事業>

研修体系の柱として、「人材育成の強化」「他部門との連携強化」「教育課題への対応力強化」を掲げ、基本研修と専門研修を計画的に実施する。また、リーダー養成研修、小学校全教員対象の英語教育教科化に向けた指導力向上研修、就学前教育研修、指導主事研修等において講師を招聘し、本市の教育水準の向上を図る。

<教職員法定研修事業>

新規採用教員に対して、採用日から1年間、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い見識を得させる。また、中堅教諭（10年経験者）の能力、適正やニーズに応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教員としての資質の向上を図る。

<指導力パワーアップ事業>

授業改善アドバイザーを配置する。若手教員による学級づくりの課題解決及び授業内容の充実等のため、各小・中学校へ派遣し、指導・助言を行い、人材育成をスムーズに進め、若手教員の授業力・学級経営に係る指導力の向上を図る。

<マイスター事業>

教員の資質・指導力の向上を図るため、教科指導等において優れた教育実践を進める教員を表彰するとともに、優れた授業を広く公開し、実践的指導力の向上を支援する。

< アクティブ・ラーニング学習モデル研究事業 >

尼崎の子どもたちに適した、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の実現に向けた授業改善の推進をする。

< 次期学習指導要領の実施に向けた実践研究 >

学校教育に関する専門的事項について、所属長の推薦を得て教員に研究員を委嘱し、センターの指導主事や指導員と協力して実践的な研究を進める。

成果等は、市内学校園に向けた公開授業、実践発表を行うとともに、研究報告書にまとめる。(平成29年度末に第55号を発刊)また、近畿地区教育研究所連盟、兵庫県教育研究所連盟等の研究発表会で実践発表を行う。

< 児童生徒文化充実支援事業 >

児童生徒の個性・能力の伸長、学習への興味・関心・意欲を高めるため、児童生徒文化発表会等の文化的活動の奨励及び小・中学校の各教科研究会の実践的な取組を支援する。

また、その取組を広く周知するとともに、活性化を促すことで教員の資質向上につなげる。

< 育み・育ち・つなぐ音楽のまち尼崎事業 >

児童生徒による多彩な音楽活動を通じて、子どもたちを育み、大人たちも育ち、市民にとって愛着と誇りの持てるまちや未来につながるまちづくりを推進するため、「～育み・育ち・つなぐ～音楽のまち尼崎コンサート」を実施するとともに、市立小・中学校児童・生徒による音楽会や中・高等学校吹奏楽部による演奏会を実施する。〔教育振興基金事業〕

< 情報教育推進事業 >

教育の情報化を推進する。児童・生徒に対し、情報活用能力の育成を図るとともに、ICTを活用した授業や、情報モラル教育の充実を図る。

< 学校情報通信ネットワークシステム関係事業 >

校務の情報化を推進し、校務処理の効率化で生み出した時間を、児童・生徒と関わる時間に充てる。ネットワークの活用では、学校間、教育委員会の情報共有や、学校・園からの情報をホームページに公開する。

< 家庭学習支援事業 >

子どもたちの確かな学力の定着のため、全ての小・中学校の保護者と児童・生徒に対して、ICTを活用した家庭向け学習支援システムを利用し、家庭での自主学習を支援する。また、中学生を対象に実施する家庭学習支援事業において、その効果や課題を明らかにするため、中学校に2校に研究スタッフを配置し、学習支援の研究を進める。

< 学びの先進研究サポート事業 >

教員自主研究グループの活動費を補助するとともに、書籍購入や資料印刷等をサポートする。

< 教育情報収集・提供事業 >

教育に関する図書、雑誌及び全国の教育センターの研究報告書、市内学校・園の研究誌等を収集するとともに、利用しやすいように整備し、貸出を行う。広報活動として「教育あまがさき」(年間2回)、「教育総合センターだより」(年間4回)を発行する。

また、教職員及び市民の教科書研究のため、教科書センターを常設する。

< 視聴覚研修事業 >

社会教育関係者等を対象に、16ミリ映写機操作技術講習会を実施するほか、16ミリフィルムや映写機、ビデオテープ、DVDやプロジェクタ等の貸出を行う。

2 研修体系策定の方針

1 平成29年度学校教育に関する重点取組

- (1) 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる
 - 1 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する
 - 2 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する
- (2) 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る
 - 1 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める
 - 2 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る
 - 3 キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する
- (3) 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む
 - 1 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する
 - 2 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る
- (4) 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る
 - 1 安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る
 - 2 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る
- (5) 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む
 - 1 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力及び教育水準の向上を図る
 - 2 地域の教育力を活用した取組を促進し、地域とともにある学校づくりを推進する

2 研修体系について

平成29年度学校教育に関する重点取組をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修と特別に実施する研修の3つに分類し実施していく。

また、道徳や小学校英語教育の教科化、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、基本研修において研修の重点化や拡充を行う。なお、県が実施している研修等との連携を図り、本市研修を精選し、研修の機会や研修内容の整理を行っている。

(1) 基本研修

1 職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、教職員の資質向上や学校の組織力向上に取り組むため職階に応じた研修を実施する。

2 職務に応じた研修

本市の現状を踏まえ喫緊の課題である学校の中核となる教員の育成をねらいとした、学校運営、研究推進、生徒指導、学力向上、危機管理といった多様な資質の向上を図る研修をはじめとする職務に応じた研修を実施する。また、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善の推進をねらいとした研修を実施する。

3 教職年数に応じた研修

教職員の資質向上を目指し、教職経験年数に応じた研修を実施する。初任者研修では、中核市としての利点を活かし、授業力の育成を重点化した内容の充実を図る。さらに、1

年目研修に引き続き，2年目，3年目とグループでの授業実践研修を重ね，採用から3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指す。

(2) 専門研修

1 教育課題等への対応研修

人権教育，インクルーシブ教育，食育に関する研修やいじめ防止・不登校児童生徒支援，特別支援教育に関する子ども理解のための研修，プログラミング教育，情報モラル，校務支援システムの活用等の情報教育に関する研修など，教育課題の対応に資する研修を実施する。

2 教科等の指導力向上を目指した研修

教科等の指導力向上および園児・児童・生徒の学びに向かう力・人間性等の育成および学力の向上等を目指し，各教科等における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。マイスター教員による公開授業等において，若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。また，異校種間の連携に取り組む研修も実施する。

(3) 特別に実施する研修

年間計画に当初より予定している研修の他に，緊急性や必要性のある研修を学校園のニーズに応じて研修を実施する。

3 具体的な取り組み

1 教職員の資質向上

教職員の資質向上を目指すため，3つの「あるべき教職員像」を掲げ研修に取り組む。

(1) あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師

- ・ 校長や教頭などの職務，職階に対応した研修
- ・ 子ども理解のための研修（いじめ防止・不登校児童生徒支援や特別支援教育など）
- ・ 養護教諭，栄養教諭・学校栄養職員，学校事務職員などの職責を遂行するための研修
- ・ 人権問題について学ぶための研修

(2) 確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師

- ・ 授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・ 教科の指導力向上をめざした研修の充実
- ・ 若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（マイスター教員による公開授業等）
- ・ 保，幼，小，中，特別支援，高等学校の教員の交流や連携を図る研修の充実

(3) 総合的な人間力

総合的な人間力を高め，時代の変化や教育課題に対応し，柔軟に指導できる教師

- ・ 学校運営の核となるリーダーを養成するための研修
- ・ 教育課題等への対応研修

2 中核市として主体的に研修の充実を図る

中核市として、国や県の動向を考慮しながら尼崎にふさわしい研修を実施していく。

< 初任者研修（法定研修）の充実 >

授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関する事など、教員として必要な基礎を身に付けることをめざす。

初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施する。研修場所は、教育総合センター以外に、市内の学校や消防署など、尼崎の施設を効果的に活用していく。

初任者研修をさらに充実するものとして、1年目研修に引き続き2年目、3年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、採用から3年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

< 中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実 >

グループによる教科指導や生徒指導の研修から、より実践力を高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深める。共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、中堅教員としての意識を高め、今後の教育活動に生かしていく。

< 若手教員研修の充実 >

1年目、2年目、3年目、4年目、5年目教員を対象に授業研究や学級経営の研修を実施していく。グループによる小集団研修やマンツーマン型研修の他、異校種交流研修を含め、授業改善アドバイザーによる訪問研修など、多様な形態で実施する。

< リーダー養成研修の充実 >

ベテラン教員の退職、若手教員の急増に伴う現状から、学校運営の中核的な役割を担うリーダーの育成を目指して、小・中・特別支援学校より推薦された中堅教員を対象としたとしてのリーダー養成研修を設定し、学校運営に寄与する人材の資質向上を図る。

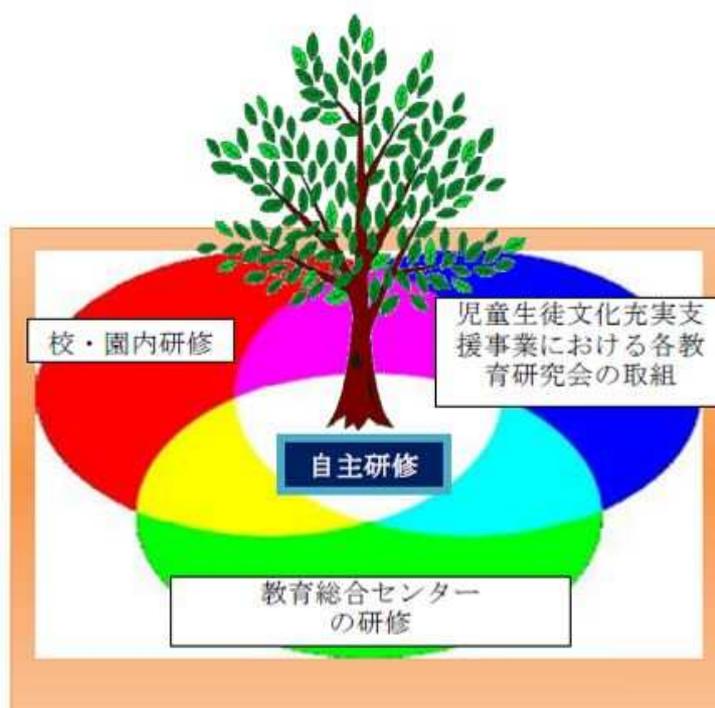
3 学校・園のニーズに応える

研修に参加した教職員へのアンケートの実施、校・園長からの研修への意見・要望の聞きとり、研究会との連携、そして、校・園長の代表者と教育総合センターの研修のあり方を協議する「センター研修事業連絡協議会」（年2回）の実施など、研修へのニーズを多方面から取り入れ、研修事業に生かしていく。

4 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「教育総合センターの計画的に設定された研修」、その他各教育研究会が主体となって企画・運営されている児童生徒文化充実支援事業における研究等がある。

それらが補完、連携し合っ
て教員の意欲や資質向上を促
していく。さまざまな研修の
延長線上に、教員自身が進んで
学び続ける「自主研修」の学
びの根っこや栄養分があると
いえる。



1 教育総合センターの研修と校・園内研修の連携

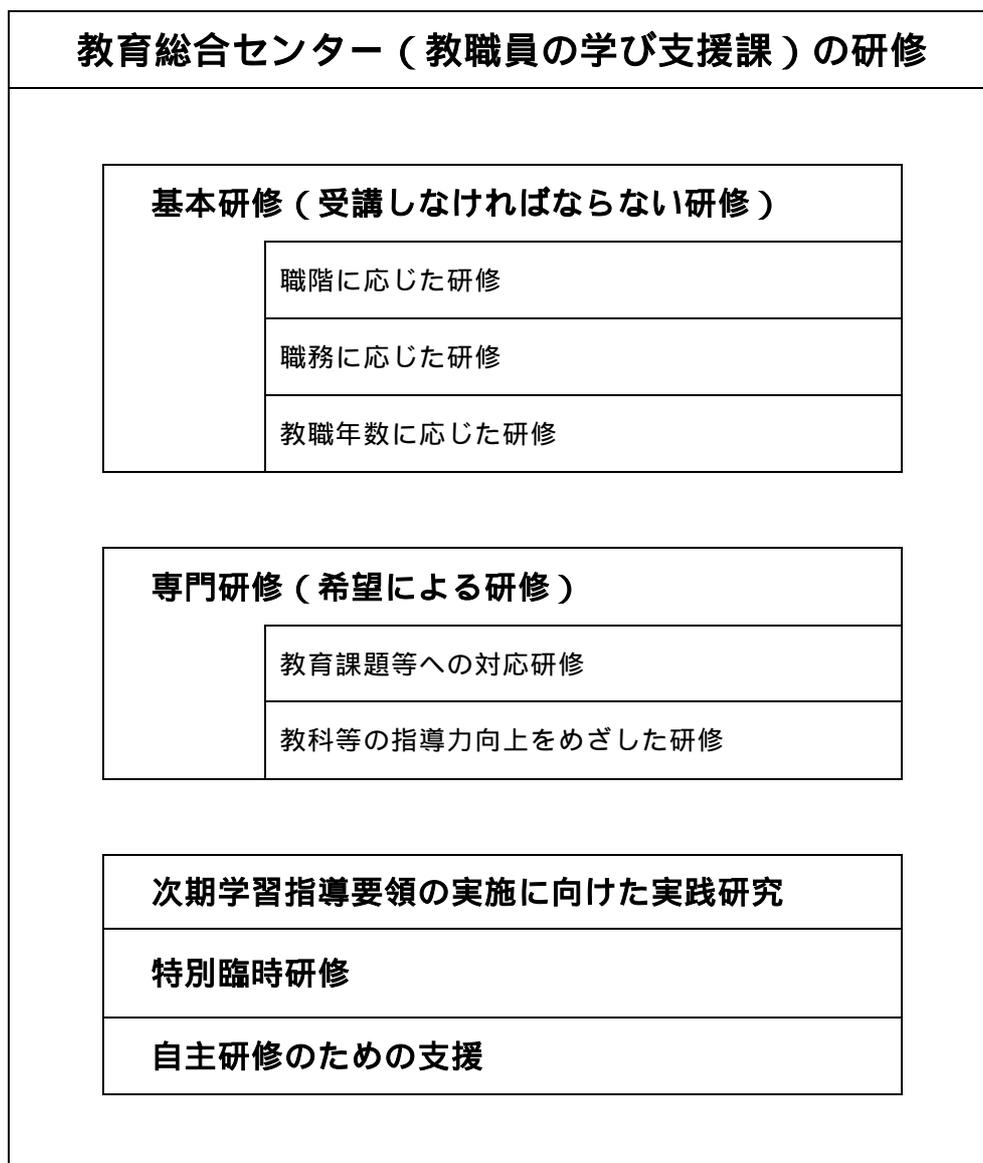
- (1) 授業力向上等に向けて、教育総合センター 教職員の学び支援課の研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- (2) 授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市のマイスター教員が授業を公開する研修を行う。(マイスター教員による公開授業研修講座)このほか、授業改善アドバイザーや指導主事等が授業を参観し、授業づくりについて支援を行っていくなど、日々の授業に役立つ取組を実施していく。
- (3) 研究部会や研究会の成果を、発表会や紀要によって広く公開し、研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど、技能や知識の共有化を図る。
- (4) わかりやすい授業や校務の情報化を推進していくため、ICT活用などの出前研修を校内研修において実施していく。
- (5) 先進的な取組や研究、優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し、必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め、学び続ける教員の育成を図る。

2 教育総合センターの研修と自主研修の連携

- (1) 教員自ら行う自主研修は、資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループ、個々のニーズにあった支援の充実を図る。
- (2) 教育総合センターの情報コーナーminiにおいて、書籍等で最新の情報やこれまで公開された授業の学習指導案を提供する。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間(午後9時)まで開放する。

5 研修体系図 (略図)

(別添参照)



研修の柱

- 人材育成の強化
- 他部門との連携強化
- 教育課題への対応力強化

キャリア段階

管理職

学校経営全般にわたっての管理・指導

深化貢献発信期
(16年目～)

組織マネジメントの視点を持ちながら、学校経営において管理職を補助する時期

充実・発展期
(6～15年目)

基礎形成期で身に付けた基礎を充実・発展する時期

基礎形成期
(1～5年目)

教職員としての基礎を確立する時期

学校教育課・他部門(尼崎市学びと育ち研究所等)との連携

- ・アクティブ・ラーニング推進事業
- ・学力定着支援事業
- ・尼崎市学習到達度調査問題作成と実施
- ・子どもの自立支援活動事業
- ・教員指導力向上事業
- ・読書力向上事業

学校との連携・支援

教科等研究会への支援・共同研修

- 児童生徒文化充実支援事業
- 全体教科研究会
- 教科研究会との連携研修
- 育み・育ち・つなぐ音楽のまち尼崎事業〔教育振興基金事業〕

教育総合センター

リーダー養成研修 研究部会
子ども理解のための研修
アクティブ・ラーニング学習モデル研究事業
○学びの先進研究サポート事業

指導力パワーアップ事業
経年研修 グループ研修
小学校全教員対象の英語教育教科化に向けた指導力向上研修
家庭学習支援事業

基本研修

教職員の資質向上、学校の組織力向上につなげるための研修

専門研修

児童生徒の学力向上のため、教員の指導力向上をめざし、今日的課題を考慮した教職員の資質と専門性の向上を図るための研修

次期学習指導要領の実施に向けた実践研究

特別臨時研修

緊急性や必要性のある研修を学校・園のニーズに応じて実施する研修

職階に応じた研修

- 校・園長研修
- 新任校・園長研修
- 教頭研修
- 幼稚園教頭研修
- 新任教頭研修
- 新任管理職PC研修
- 指導主事研修

教職年数に応じた研修

- 教職20年目研修
- 15年次相当研修
- 中堅教諭等資質向上研修(法定研修)
- 教職7年目研修
- 5年次相当研修
- 教職4年目研修
- 教職経験者3年次研修
- 教職経験者2年次研修
- 初任者研修(法定研修)

職務に応じた研修

- リーダー養成研修
- 教科化に向けての外国語活動研修
- 就学前教育研修
- 養護教諭研修
- 栄養教諭 学校栄養職員研修
- 道徳教育推進教師研修
- 特別支援コーディネーター研修
- 学校事務職員研修
- 教育用コンピュータ管理担当研修
- 管外転入教員研修

教育課題等への対応研修

教育課題研修講座

- 人権教育研修講座
- インクルーシブ教育研修講座
- 食育研修講座

児童・生徒理解研修講座

- 子ども理解のための研修講座
- A: いじめ防止・不登校児童生徒支援
- B: 特別支援教育

学級集団づくり研修講座

- A: 野外活動体験
- B: 学級経営

一般教養研修講座

- 一般教養研修講座
- 学校飼育動物研修講座

教育の情報化研修講座

- 情報教育
- A: プログラミング教育研修講座
- B: 情報モラル・セキュリティ研修講座
- 教科指導における情報通信技術活用
- 小・中学校 ICT 活用研修講座
- 校務の情報化
- 校務支援システム研修講座

教科等の指導力向上をめざした研修

- 国語科教育研修講座
- 図書館教育研修講座
- 社会科教育研修講座
- 算数科教育研修講座
- 数学科教育研修講座
- 理科教育研修講座
- 音楽科教育研修講座
- 体育科教育研修講座
- 技術科教育研修講座
- 家庭科教育研修講座
- 道徳教育研修講座
- 総合的学習研修講座
- 特別活動研修講座

- 図工・美術科教育研修講座
- 大学と連携した英語指導力向上研修講座
- 外国語活動・英語科教育研修講座
- アプローチ・スタートカリキュラム研修講座

マイスター教員による
公開授業研修講座

センター研究部会

- 国語科教育AL部会【小】
- 算数科教育AL部会【小】
- アクティブ・ラーニング授業実践部会【中】
- 外国語活動・英語科教育研究部会
- 道徳教育研究部会

市内学校園に向けた公開授業、実践発表、研究報告書の配布等近畿、兵庫県内教育研究所連盟等での発表

自主研修のための支援

- 学びの先進研究サポート事業
- 自主研究グループの活動支援

教育資料の収集・貸出

教育総合センター情報資料室における教育資料の収集整理・情報提供・貸出「教育あまがさき」「教育総合センターだより」の発刊
市民等を対象に16ミリフィルムや映写機、DVD等の視聴覚機器の貸出

教育情報システム

あまネットシステム
教育・研修資料等の情報提供

生徒指導に関すること
(いじめ防止、NO体罰等)
危機管理に関すること
(防災教育、アレルギー対応等)
学社連携に関すること
その他、喫緊の課題

国・文科省実施の研修

派遣研修

独立行政法人教職員支援機構研修
兵庫教育大学大学院派遣
大学院派遣研修

県が実施している研修

- ・初任者研修(一部)
- ・拠点校指導教員研修会
- ・管理職研修
- ・主幹教諭研修
- ・道徳教育実践研修
- ・学級経営研究会(特別支援教育)
- ・生徒指導担当教員等研修会
- ・幼稚園教育理解推進研修会
- ・キャリア教育担当教員実践研修
- ・英語教育地区別研修
- ・人権教育研修会
- ・防災教育研修会
- ・情報教育研修会 等

6 教育総合センター研修一覽表

種別	中分類	新再設編	平成29年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質			内容・領域	対象	対象校種	
				情熱・責任感	授業力	専門性				
受講しなればならない研修（基本研修）	職に就いた研修		校・園長研修				学校経営課題研修	校・園長	全校種	
			新任校・園長研修				校・園長の職務	新任校・園長	全校種	
			教頭研修				学校経営課題	教頭	全校種	
			幼稚園教頭研修				教頭としての心構え	幼稚園教頭	幼稚園	
			新任教頭研修				新任教頭としての心構え	新任教頭	小・中・高・特	
			新任管理職コンピュータ研修				ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種	
	職務に応じた研修		リーダー養成研修（シリーズ研修）	第1回				教育にエビデンスの視点を	各校より専任	小・中・特
		第2回					学校の危機管理能力を高める			
		第3回					学校力向上に向けての実践			
		第4回					学校運営に係る法規			
		第5回					校内授業研修マネジメント			
			就学前教育研修	第1回				就学前教育について	就学前教育に携わる幼稚園、保育園、保育所等の教職員および小学校教員	幼稚園 保育園 保育所 小学校
		第2回					具体例を通して就学前教育を学ぶ			
			教科化に向けての外国語活動研修	1				全体研修	小学校全教員	小・特
		2					全体研修			
			教科化に向けての外国語活動研修	1				実施体験研修	小学校全教員	小・特
		2					実施体験研修			
		3					実施体験研修			
4					実施体験研修					
5					実施体験研修					
	養護教諭研修					養護教諭の課題解決に向けた研修	養護教諭	全校種		
	栄養教諭研修 食育研修講座を兼ねる					子どもの食に係る課題解決に向けた研修	栄養教諭・学校栄養職員	全校種		
	道徳教育推進教師研修 道徳教育研修講座を兼ねる					道徳授業実践研修	道徳教育推進教師	全校種		
	特別支援教育コーディネーター研修 インクルーシブ教育研修講座と兼ねる					特別支援教育、インクルーシブ教育の充実を図るための研修	特別支援教育コーディネーター	全校種		
	学校事務職員研修					財務会計システムの運用	学校事務職員	全校種		
	教育用コンピュータシステム管理担当研修					教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特		
	国語科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全8回				国語科で創る主体的・対話的で深い学び等	各校より専任	小学校		
	算数科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全8回				算数科で創る主体的・対話的で深い学び等		小学校		
	中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会研修	全7回				中学校アクティブ・ラーニング型研修等		中学校		
教職年数に応じた研修		1年目教員必修研修	第1回				尼崎の教育、接遇について、ICT	1年目教員必修研修対象者	小・中・特	
	第2回					指導案作成の基礎、教科の指導				
	第3回					校務支援、情報モラル、教科指導におけるICTの活用				
	第4回					授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観				
	第5回					危機管理、人権教育、教科の指導				
	第6回					学級経営、授業実践研修				
	第7回					教科の指導、授業実践研修				
	第8回					教育相談、教科の指導				
	第9回					尼崎の地域、社会体験研修報告会、教科の指導				
	第10回					救命救急法、体験研修、教科指導におけるICTの活用				
	第11回					授業実践研修				
	第12回					生徒指導、「特別の教科 道徳」の指導				
	第13回					学習評価、教科の指導				
	第14回					他業種に学ぶ、1年目教員研修の成果と課題、2年次研修に向けて				
		教職経験者（2年次）研修	共通研修				研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修	2年目教員	小・中	
	共通研修					生徒指導の充実、ストレスマネジメント				
	グループ					グループ授業実践研修（指導案、レポート等をもとに実践交流）				
	グループ					グループ公開授業研修（代表者による公開授業、事後研究会）				
		教職経験者（3年次）研修	選択研修				「教科等の指導力向上をめざした研修」から2講座を受講	3年目教員	小・中・特	
	個人					マンツーマン授業実践研修（指導案の作成、事後指導）				
共通研修					研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修					
グループ					グループ授業実践研修（指導案、レポート等をもとに実践交流）					
	4年目教員研修	グループ				グループ公開授業研修（代表者による公開授業、事後研究会）	4年目教員	小・中・特・高		
個人					異なる校・園種との連携（授業参観、ITによる授業実践研修等）					
	5年次相当教員研修	選択研修				希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択	5年目教員（5年次相当教員）	小・中・特		
	7年目教員研修（ミドルリーダー研修）	共通研修				中堅教員としての役割を自覚する	7年目教員	小・中・特		
	中堅教諭等資質向上研修	共通研修				尼崎の今日的課題に取り組む	10年経験者教員（11年目教員）	小・中・特		
選択研修					マイスター教員による公開授業研修講座等から選択					
	15年次相当教員研修	選択研修				希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択	15年目教員（15年次相当教員）	小・中・特		
	20年目教員研修	選択研修				希望による研修講座から2講座を受講	20年目教員	幼・小・中・特		
選択研修										
	管外転入教員研修					本市の課題とこれまでの取り組み	管外転入教員	幼・小・中・特		

希望による研修 (専門研修)	教育課題等への対応研修	人権教育研修講座	1			LGBTを学ぶ	全教職員	全校種
			2			これからの人権教育		
			3			多文化共生を考える		
		一般教養研修講座				民間で活躍する人に学ぶ	全教職員	全校種
		学校飼育動物研修講座				飼育動物の取り扱いについての留意点	全教職員	幼・小・特
		校務支援システム活用研修講座(初級)	小学校			各種名簿作成, 日々の様子, 生徒指導等	全教員	小・特 中・特
			中学校					
		校務支援システム活用研修講座(上級)	小学校			成績処理, 通知表作成, 要録作成等	全教員	小・特 中・特
			中学校					
		小学校ICT活用研修講座	1			コンピュータ室の機器及びソフトウェアの活用	全教員	小・特 中・特
		中学校ICT活用研修講座	2					
		プログラミング教育研修講座				プログラミング教育について	全教職員	全校種
		食育研修講座 栄養教諭研修を兼ねる				子どもの食に係る課題解決に向けた研修	全教職員	全校種
		子ども理解のための研修講座	1			いじめ防止のための研修 特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応研修	全教職員	全校種
			2					
		インクルーシブ教育研修講座				特別支援教育, インクルーシブ教育の充実を図るための研修	全教員	全校種
		学級集団づくり研修講座 学級経営	1			学級経営の基本を学ぶ	全教員	全校種
		学級集団づくり研修講座 野外活動体験	2			野外活動に関する体験研修 (講師: 美方少年自然の家から出張講師)	全教員	全校種
		道徳教育研修講座 道徳教育推進教師研修を兼ねる				道徳授業実践研修	全教員	全校種
		国語科教育研修講座	1			[小学校教員向け] 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて [中学校教員向け] 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種
			2					
		社会科教育研修講座				社会科の授業で培う力	全教員	全校種
		図書館教育研修講座				学校における多様な読書活動の展開	全教員	全校種
		算数科教育研修講座				[小学校教員向け] 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種
		数学科教育研修講座				[中学校教員向け] 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種
		大学と連携した英語指導力向上研修講座	1			[小学校教員向け] 兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等 [中学校教員向け] 兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等	全教員	全校種
			2					
外国語活動・英語科教育研修講座				小・中つながりのある英語教育	全教員	全校種		
理科教育研修講座				実験や観察で気をつけたいこと	全教員	全校種		
アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の接続期教育研修講座)	1			幼保小連携アプローチ・スタートカリキュラムについて 造形遊びに関する公開授業(幼保小連携) 明日から使える楽しい音楽遊び	全教員	全校種		
	2							
	3							
音楽科教育研修講座				表現と鑑賞の指導について	全教員	全校種		
図工・美術科教育研修講座				造形遊びに関する講話および実技演習	全教員	全校種		
体育科教育研修講座	1			[小学校教員向け] リズムダンスの指導のポイント [中学校教員向け] ダンスの指導のポイント	全教員	全校種		
	2							
総合的な学習研修講座				消費者教育について	全教員	全校種		
特別活動研修講座				学級活動の指導のあり方	全教員	全校種		
技術科教育研修講座				学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種		
家庭科教育研修講座				学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種		
マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教員による授業) (中学校教員による授業)	1			マイスター1 マイスター2 マイスター3 マイスター4 マイスター5 マイスター6 マイスター7 マイスター8	全教員	全校種		
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
教育総合センター研究発表会				各研究部会による公開授業等	全教員	全校種		
特別に実施する研修	臨時研修	特別臨時研修						
						課題に対応した研修(1)		
						課題に対応した研修(2)		
						課題に対応した研修(3)		
						課題に対応した研修(4)		

7 教職員研修計画内容

研修内容は予定です。

1 受講しなければならない研修(基本研修)

(1) 職階に応じた研修(職階別研修)

研修・講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考
校・園長研修	5/2	管理職として、広い視野と洞察力の上から今後の学校経営の在り方を考える。	教育行政から見た校・園長の役割	校長 園長	講話
新任校・園長研修	4/25	管理職としての職務(学校経営、管理運営、職員育成)について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	新任校・園長に望むこと	新任校長 新任園長	講話
教頭研修	7/10	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	危機管理について (リスクマネジメント)	教頭	講話
幼稚園教頭研修	5/12	教頭としての心構えや園の経営について研修し、幼稚園経営の充実を図る。	教頭としての心構え	幼稚園 教頭	講話
新任教頭研修	4/17	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	新任教頭としての心構え	新任教頭	講話
新任管理職コンピュータ研修	4/14 4/17	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを活用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

(2) 職務に応じた研修(職務別研修)

研修・講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考	
リーダー養成研修	第1回	5/31	学校全体をコーディネートする力やリーダーシップの向上を図る。	教育にエビデンスの視点を	小・中・特 各校より専任	講話 及び 演習
	第2回	7/7		学校の危機管理能力を高める		
	第3回	8/7		学校力向上に向けての実践		
	第4回	8/9		学校運営に係る教育法規		
	第5回	12/7		校内授業研修マネジメント		
就学前教育研修	第1回	未定	小学校就学前教育について知り、指導力を高める。	就学前教育について	就学前教育に携わる幼稚園、保育園、保育所等の教職員および小学校教員	講話
	第2回	未定	就学前教育の具体的な内容について理解を深め、指導力の向上を図る。	具体例を通して就学前教育を学ぶ		
教科化に向けての外国語活動研修	1	8/9	小学校外国語活動の基本理念を知り、研修計画立案等に役立てる。	英語教育の教科化を踏まえた国の動向と英語教育への考え方	小学校 全教員	講話
	2					
教科化に向けての外国語活動研修	1	8/3 8/4 8/7	外国語活動を担当したことがない教員の指導力の充実を図る。	教える自信がつく！ 楽しい外国語活動研修	小学校 全教員	演習
	2					
	3					
	4					
	5					
養護教諭研修	未定	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の課題解決に向けた研修	養護教諭	講話	
栄養教諭研修 食育研修講座を兼ねる	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	課題解決に向けた研修	栄養教諭 学校栄養職員	講話	
道徳教育推進教師研修 道徳教育研修講座を兼ねる	8/23	道徳の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	道徳授業実践研修	道徳教育推進教師	講話 及び 演習	
特別支援教育 コーディネーター研修 インクルーシブ教育研修講座を兼ねる	5/25	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て	特別支援教育 コーディネーター	講話	
学校事務職員研修	5/24	財務会計システムの使用について、共通認識をもつとともに、疑問点を解決する。	財務会計システムの運用について	学校事務職員	講話	
教育用コンピュータシステム 管理担当研修	4/28	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特別支援学校の教育用コンピュータ管理担当教員	講話 及び 演習	

研修・講座名		実施時期	目的	内容	対象	備考
小学校国語科教育 アクティブ・ラーニング 部会研修	全8回	6/2 7/31 8/29 2/27 他未定	国語科に関する理解を深め、指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	国語科で創る 主体的・対話的で深い学び	小学校 各校より専任	講話及び演習
小学校算数科教育 アクティブ・ラーニング 部会研修	全8回	7/7 8/1 8/22 8/24 2/20 他未定	算数科に関する理解を深め、指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	算数科で創る 主体的・対話的で深い学び	小学校 各校より専任	講話及び演習
中学校 アクティブ・ラーニング 授業実践部会研修	全7回	5/25 7/27 8/9 9/21 他未定	課題の発見・解決に向けた主体的・協同的に学ぶ学習の効果的な活用により、教員の授業力向上を図る。	中学校アクティブ・ラーニング 型研修 等	中学校 各校より専任	講話及び演習

研修・講座名		実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考
1年目教員必修研修	第1回	4/25	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、接遇について、ICT	幼・小・中・高・特別支援学校の初任者研修対象者	講話及び演習
	第2回	5/23 6/20 6/27		指導案作成の基礎、教科の指導		
	第3回	5/23 6/20 6/27		校務支援、情報モラル、教科指導におけるICTの活用		
	第4回	6/6 9/12		授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観	小・中学校の初任者研修対象者	
	第5回	6/13		危機管理、人権教育、教科の指導		
	第6回	7/4		学級経営、授業実践研修		
	第7回	8/1 8/2		教科の指導、授業実践研修	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第8回	9/26		教育相談、教科の指導		
	第9回	10/3		尼崎の地域、社会体験研修報告会、教科の指導	小・中学校の初任者研修対象者	
	第10回	10/24 11/14		救命救急法、体験研修、教科指導におけるICTの活用		
	第11回	11/21 11/28 12/5		授業実践研修	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第12回	1/16		生徒指導、「特別の教科 道徳」の指導	小・中学校の初任者研修対象者	
	第13回	2/6		学習評価、教科の指導	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第14回	2/13		他業種に学ぶ、1年目教員研修の成果と課題 2年次研修に向けて	小・中学校の初任者研修対象者	

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
教職経験者（2年次）研修	6/16 6/21 6/22	初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法を活用しながら授業を充実させる力や児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上に資する。	研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修	小・中学校の2年目教員	講話
	6/30		生徒指導上の課題解決に向けて ストレスマネジメント		講話
	6月～2月		グループ授業実践研修 グループ授業実践研修 （公開授業）		授業
			教科等の研修講座を2つ選択して受講する		講話及び演習
		マンツーマン授業実践研修		授業	
教職経験者（3年次）研修	6/16 6/21 6/22	初任者研修、教職経験者（2年次）研修の成果を踏まえ、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図るとともに、学び続ける教員としての資質向上に資する。	研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修	小・中学校の3年目教員	講話及び演習
	6月～2月		グループ授業実践研修 実践交流、指導案の検討等		授業
			グループ授業実践研修 公開授業、事後研究会		授業
			教科等の研修講座を1つ選択して受講する		講話及び演習
4年目教員研修	6月～2月	異なる校・園種の子どもや教職員との連携を図ることにより、他校・園種の教育活動を学ぶ。	異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）	幼・小・中・高・特別支援学校の4年目教員	授業
5年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の5年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	
7年目教員研修 （ミドルリーダー研修）	2月	多くの対象教員が、採用後2校目の経験を重ねるなかで、各自の課題を把握するとともに、中堅教員としての自覚を高め、今後の教員生活の充実に資する。	中堅教員としての役割を自覚する	小・中・特別支援学校の7年目教員	
中堅教諭等資質向上研修	5/10	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	尼崎の今日的課題に取り組む	小・中・特別支援学校の10年経験者(11年目)	講話及び演習
	5月～2月	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	任意の研修を選択		
15年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の15年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	
20年目教員研修	通年	これからの教育課題を理解し、中堅教員として教育の理論と広い視野を身につける。	任意の研修を2つ選択	小・中・特別支援学校の20年目教員（養護及び栄養教諭含）	
管外転入教員研修	4/26	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話

2 希望による研修(専門研修)

(1) 教育課題等への対応研修

研修・講座名		実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考
人権教育研修講座	1	7/21	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	LGBTを学ぶ	全教職員	講話及び演習
	2	7/24		これからの人権教育		
	3	7/28		多文化共生を考える		
一般教養研修講座		7/28	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	民間で活躍する人に学ぶ	全教職員	講話及び演習
学校飼育動物研修講座		6/26	学校・園内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	飼育動物の取り扱いについての留意点		
校務支援システム活用研修講座(初級)	小学校	8/2	校務支援システムの活用方法の基礎を習得し、効率的に業務の遂行を図る。	スズキ校務による名簿作成・日々の様子等について		
	中学校	7/26				
校務支援システム活用研修講座(上級)	小学校	8/3	校務支援システムの活用方法を習得し、効率的かつ円滑な業務の遂行を図る。	スズキ校務による成績処理、通知表作成、要録作成等について		
	中学校	7/26				
小学校ICT活用研修講座	1	8/7	授業においてICTを効果的に活用する方法について研修し、指導力向上を図る。	コンピュータ室の機器及びソフトウェアを活用した授業について		
中学校ICT活用研修講座	2	7/31				
プログラミング教育研修講座		8/24	プログラミング教育の概要について理解を深める	プログラミング教育の概要		
食育研修講座 栄養教諭研修も兼ねる		未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	課題解決にむけた研修	全教職員	講話及び演習
子ども理解のための研修講座	1	8/4	いじめについての児童生徒の実態を把握し、いじめの未然防止、早期発見に向けた理解を深めるとともに、教職員の対応能力の向上を図る。	事例からみる“いじめのしくみ”		
	2	8/3				
インクルーシブ教育研修講座		5/25	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに、具体的な事例を通して、実践的な対応力の向上を図る。	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て		
学級集団づくり研修講座 学級経営	1	6/8	子どもたちの学校生活の居場所となる学級の経営について理解を深め、学級力の向上を図る。	学級経営から学級力へ - R P D C Aの活用 -		
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	2	7/26 7/28	体験活動を通して、他者に対する思いやりや心や協調性などの社会性を育む指導力の向上を図る。	野外活動に関する体験研修 (美方少年自然の家から出張講師)		

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修

研修・講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考
道徳教育研修講座 道徳教育推進教員研修を兼ねる	8/23	道徳の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	道徳授業実践研修	全教職員	講話及び演習
国語科教育研修講座	1	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け)新学習指導要領における国語科教育の方向性		
	2		(中学校教員向け)メディアを活用した国語科授業		
社会科教育研修講座	未定	社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	社会科の授業で培う力		
図書館教育研修講座	8/28	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	多様な読書活動を支える・学校図書館の充実に向けて		
算数科教育研修講座	8/22	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け)全員参加の算数授業づくり		
数学科教育研修講座	8/8	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(中学校教員向け)主体的・対話的で深い学びの充実に向けて		
大学と連携した英語指導力向上研修講座	1	外国語活動の指導法等についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け)兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等		
	2		(中学校教員向け)兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等		
外国語活動・英語科教育研修講座	8/22	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	英語教育を小中一貫で行うには		
理科教育研修講座	2/16	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	実験や観察で活かせる指導		
アプローチ・スタートカリキュラム研修講座	1	幼児期と児童期の接続期教育についての理解を深め、保育・授業実践における指導の充実を図る。	幼保小連携教育カリキュラムを生かした保育・授業の展開		
	2		造形遊びに関する公開授業(幼保小連携教育)		
	3		幼保小連携から考える教師の役割～楽しく取り組める音楽遊び～		
音楽科教育研修講座	8/4	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	低・中学年の音楽の授業づくり～楽しく取り組める歌唱指導～		
図工・美術科教育研修講座	8/2	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	実技研修 「クレヨン・パスでの造形表現」 講話「共に創る図工の学び - 新学習指導要領の視点から - 」		
体育科教育研修講座	1	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身に付け、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け)「つなげよう!リズムダンスの学習と体育大会」		
	2		誰でもできるダンスの指導方法		
総合的な学習研修講座	8/25	「総合的な学習の時間」の目標を踏まえ、学校の実態に応じた学習活動について理解を深め、指導力の向上を図る。	「生きる力を育む消費者教育～効果と取り入れ方～」		
特別活動研修講座	7/26	特別活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	「戦略的学級経営で学級をワンダーランドに!」		
技術科教育研修講座	7/31	技術科の授業実践を図る技術を習得する。	学習指導要領の改訂と技術科教育の方向性		
家庭科教育研修講座	8/22	家庭科の授業実践を図る技術を習得する。	家庭科教育における主体的・対話的で深い学び		
マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教員による授業) (中学校教員による授業)	7月～2月	見本となる授業とその研究協議を通して、個々の授業力や指導力を高める。	マイスター教員による公開授業研修講座		
教育研究発表会	課業期間中	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	各研究部会による公開授業等		

8 教育総合センター研修担当分担表

種別	中分類	平成29年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者								
				井上	松本	兒玉	田中	相方	民谷	藤井	小谷	
受講しなければならぬ研修(基本研修)	職に就いた研修	校・園長研修	学校経営課題研修									
		新任校・園長研修	校・園長の職務									
		教頭研修	学校経営課題									
		幼稚園教頭研修	教頭としての心構え									
		新任教頭研修	新任教頭としての心構え									
		新任管理職コンピュータ研修	ネットワークを利用した校務処理									
	職務に応じた研修	リーダー養成研修(シリーズ研修)	第1回	教育にエビデンスの視点を								
			第2回	学校の危機管理能力を高める								
			第3回	学校力向上に向けての実践								
			第4回	学校運営に係る法規								
			第5回	校内授業研修マネジメント								
		就学前教育研修	第1回	就学前教育について								
			第2回	具体例を通して就学前教育を学ぶ								
		教科化に向けての外国語活動研修	1	全体研修								
			2	全体研修								
		教科化に向けての外国語活動研修	1	実施体験研修								
			2	実施体験研修								
			3	実施体験研修								
			4	実施体験研修								
			5	実施体験研修								
養護教諭研修			養護教諭の課題解決に向けた研修									
栄養教諭研修 食育研修講座を兼ねる			子どもの食に係る課題解決に向けた研修									
道徳教育推進教師研修 道徳教育研修講座を兼ねる			道徳授業実践研修									
特別支援教育コーディネーター研修			特別支援教育の充実を図るための研修									
学校事務職員研修			財務会計システムの運用									
教育用コンピュータシステム管理担当研修			教育用コンピュータシステムの管理と運用									
国語科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全8回	国語科で創る主体的・対話的で深い学び 等										
算数科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全8回	算数科で創る主体的・対話的で深い学び 等										
中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会研修	全7回	中学校アクティブ・ラーニング型研修 等										
1年目教員必修研修	第1回	尼崎の教育、接遇について、ICT										
	第2回	指導案作成の基礎、教科の指導										
	第3回	校務支援、情報モラル、教科指導におけるICTの活用										
	第4回	授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観										
	第5回	危機管理、人権教育、教科の指導										
	第6回	学級経営、授業実践研修										
	第7回	教科の指導、授業実践研修										
	第8回	教育相談、教科の指導										
	第9回	尼崎の地域、社会体験研修報告会、教科の指導										
	第10回	救命救急法、体験研修、教科指導におけるICTの活用										
	第11回	授業実践研修										
	第12回	生徒指導、'特別の教科 道徳'の指導										
	第13回	学習評価、教科の指導										
	第14回	他業種に学ぶ、1年目教員研修の成果と課題、2年次研修に向けて										
教職経験者(2年次)研修	共通研修	研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修										
	共通研修	生徒指導の充実、ストレスマネジメント										
	グループ	グループ授業実践研修 (指導案、レポート等をもとに実践交流)										
	グループ	グループ公開授業研修 (代表者による公開授業、事後研究会)										
	選択研修	'教科等の指導力向上をめざした研修'から2講座を受講										
	個人	マンツーマン授業実践研修(指導案の作成、事後指導)										
教職経験者(3年次)研修	共通研修	研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修										
	グループ	グループ授業実践研修 (指導案、レポート等をもとに実践交流)										
	グループ	グループ公開授業研修 (代表者による公開授業、事後研究会)										
	選択研修	'教科等の指導力向上をめざした研修'から1講座を受講										
4年目教員研修	個人	異なる校・園種との連携(授業参観、TTによる授業実践研修等)										
5年次相当教員研修	選択研修	希望による研修講座から1日分(半日は2つで1日とする)選択										
7年目教員研修(ミドルリーダー-研修)	共通研修	中堅教員としての役割を自覚する										
中堅教諭等資質向上研修	共通研修	尼崎の今日的課題に取り組む										
	グループ	教科指導、生徒指導グループ研修										
	選択研修	マイスター教員による公開授業研修講座等から選択										
15年次相当教員研修	選択研修	希望による研修講座から1日分(半日は2つで1日とする)選択										
20年目教員研修	選択研修	希望による研修講座から2講座を受講										
	選択研修											
管外転入教員研修		本市の課題とこれまでの取り組み										

9 文部科学省・県教育委員会等の実施する研修一覧

主催	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法人 教職員支援 機構研修	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
	英語教育推進リーダー中央研修	
県立特別支援 教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員及び 新任通級指導担当教員
	ベーシック研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員等
	アドバンス研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員等
	学校・地域支援リーダー研修	特別支援学校教員，幼・小・中・高等学校の特別支援 教育担当教員（市・学校等からの推薦により受講）
	サポート研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員等
県立教育研修所	高等学校初任者研修	平成 29（2017）年度採用高等学校教員 平成 28（2016）年度採用高等学校教員
	高校教員 3 年次研修講座	平成 27（2015）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成 19（2007）年度採用高等学校教員
	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	全校園種教員
	自由研修	平成 29（2017）年度採用
	学校経営研修講座	小・中・特別支援学校校長
県教育委員会 阪神教育 事務所等	学校管理職・教育行政職特別研修	平成 29（2017）年度採用 小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会（校長）	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会（教頭）	小・中・特別支援学校教頭
	学校管理職（校長）研究協議会	高等学校校長
	学校管理職（教頭）研究協議会	高等学校教頭
	新任校長学校経営研修講座	平成 29（2017）年度採用高等学校校長
	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修 （10 年経験者研修を改称）	平成 19（2007）年度採用幼稚園教員
	養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用 10 年次）	平成 20 年（2008）年度採用 小・中・特別支援学校の 10 年目養護教諭・栄養教諭
	市町立学校主幹教諭研修会	平成 29（2017）年度登用主幹教諭
	市町立学校臨時的任用教員及び 任用候補者研修会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	大学と連携した英語指導力向上事業	小・中・高等学校（県費）教員

10 平成28年度 研修報告

研修受講者の研修アンケートによると、9割が「現状の研修でよい」との回答を得ている。今年度から、職務に応じた研修の主干教諭研修、教務担当研修、研究担当研修、生徒指導担当研修を再編し、リーダー養成研修とした。年間5回シリーズで、実情に応じたテーマで企画運営したことから、受講者のニーズに合致し、大変好評であった。また、新学習指導要領に向けて、アクティブ・ラーニングを中心に据えた、「小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会」「小学校算数教科教育アクティブ・ラーニング部会」「中学校アクティブ・ラーニング部会」の3部会を新たに立ち上げ、より実践的な研修内容で受講者の理解度、満足度ともに高いものとなった。

1 受講しなければならない研修(基本研修)

(1) 職階に応じた研修(職階別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
校・園長研修	5	2	月	講話	これからの学校に求められること ～学校と地域の連携・協働～	元 尼崎市教育長	保田 薫	67
新任校・園長研修	4	25	月	講話	新任校・園長に望むこと	尼崎市教育委員会 教育長	徳田 耕造	13
教頭研修	8	24	水	講話	スクールソーシャルワークについて	大阪府立大学 教授 大阪大学大学院 教授	山野 則子 小野田正利	64
新任教頭研修	4	15	金	講話	実務に関する対応研修	教育総合センター職員	上玉利 敏昭	6
新任管理職コンピュータ研修	4	20	水	講話 演習	ネットワークを利用した校務処理	教育総合センター 情報教育担当 指導員	東江 潤 兒玉 崇	12

(2) 職務に応じた研修(職務別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
リーダー養成研修	(1)	7	21	火	講話	尼崎市の教育課題を踏まえたリーダーに求められる資質について	尼崎市教育委員会事務局 次長	西川 嘉彦	86
	(2)	8	4	木	講話	学力向上に対する取り組みについて	尾道市立土堂小学校 校長	佐々木 智彦	80
	(3)	8	23	火	講話	教育法規について	尼崎市教育委員会 管理主事	佐野 正信	79
	(4)	11	1	火	講話	いじめ防止対策推進法の下での“記録”をとることの大切さ～保護者対応トラブルを少なくするために	大阪大学大学院 教授	小野田 正利	65
	(5)	12	8	木	講話	学習指導要領改訂に伴う、これからの授業および学校と研修	鳴門教育大学大学院 教授	村川 雅弘	72
就学前教育研修	(1)	9	15	木	講話	就学前の教育・保育についての基本的な考え方	大垣女子短期大学 教授	西川 正晃	117
	(2)	9	15	木					
	(3)	12	13	火	講話	就学前教育について実践事例(ビデオ)をとおして学ぶ	大垣女子短期大学 教授	西川 正晃	74
	(4)	12	13	火					
教科化に向けての外国語活動研修	(1)	8	1	月	講話	英語教育の教科化を踏まえた国の動向と英語教育の考え方	関西大学 教授	今井 裕之	168
	(2)	8	2	火					141
教科化に向けての外国語活動研修	(1)	7	28	木	講話 演習	尼崎市小学校外国語活動 教員研修実施プラン ～教える自信がつく！ 楽しい外国語活動研修～	株式会社 ミネルヴァインテリジェンス 所属講師	職員3名	57
	(2)	7	28	木				職員3名	64
	(3)	7	29	金				職員3名	64
	(4)	7	29	金				職員3名	63
	(5)	8	1	月				職員3名	93
養護教諭研修	8	22	月	講話	こどもの運動器障害と運動器検診の実際	大森クリニック 院長	大森 英夫	70	
栄養教諭研修	12	16	金	講話	「食指導の充実 ～食から子どもたちを育てる～」	武庫川女子大学 専任講師	藤本 勇二	41	
特別支援教育 コーディネーター研修	8	9	火	講話	通常学級の授業づくり・学級づくり ～どの子ども「わかった」「できた」「楽しい」を めざして～	小野市社会福祉課 発達支援室 発達支援コーディネーター	小林 祐子	50	

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数			
	月	日	曜								
国語科教育 アクティブ・ラーニング 部会研修	(1)	5	20	金	講話	授業創りの楽しみ	ブール学院大学 准教授	今宮 信吾	37		
	(2)	7	25	月	講話 演習	学習指導案グループ検討			40		
	(3)	7	25	月	講話 演習				40		
	(4)	8	10	水	講話 演習	筆者の工夫を見つける説明文教材分析の方法と実際	鳴門教育大学大学院 教授	幾田 伸司	115		
	(5)	8	23	火	講話 演習	学習指導案グループ検討	ブール学院大学 准教授	今宮 信吾	39		
	(6)	2	1	水	講話 授業参観	・公開授業 第4学年の実践 ・事後研究会 ・指導助言			22		
	(7)	2	14	火	講話 授業参観	・公開授業 第5学年の実践 ・事後研究会 ・指導助言			25		
	(8)	2	28	火	講話 演習	・本年度のまとめ ・次年度へ向けて			34		
	(9)	3	9	木	講話	学びの文脈を創るアクティブ・ラーニングの推進	大妻女子大学 准教授	樺山 敏郎	69		
算数科教育 アクティブ・ラーニング 部会研修	(1)	6	28	火	講話 演習	・講話 ・アクティブな授業創り演習	関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	42		
	(2)	8	1	月	講話 演習	・アクティブな授業創り演習 ・指導案演習			40		
	(3)	8	3	水	講話	クラス全員をアクティブにさせる算数授業の創り方	筑波大学附属小学校 主幹教諭	田中 博史	206		
	(4)	8	25	木	講話 演習	・講話 ・ビデオ映像による授業分析 ・指導案交流、プレゼン事前協議 ・各グループ代表プレゼン発表 (12グループ) ・代表授業者2名選出	関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	41		
	(5)										
	(6)	11	22	火	講話 授業参観	・公開授業 第1学年の実践 ・事後研究会 ・指導助言			30		
	(7)	2	7	火	講話 授業参観	・公開授業 第4学年の実践 ・事後研究会 ・指導助言			31		
	(8)	2	21	火	講話 演習	・本年度のまとめ ・次年度へ向けて			38		
中学校 アクティブ・ラーニング 部会研修	(1)	5	27	金	講話	・アクティブ・ラーニングを取り巻く現状について ・思考力・表現力をどう育成するか ・まなボードの使い方			大阪教育大学大学院 准教授 鳴門教育大学大学院 講師	寺嶋 浩介 泰山 裕	18
	(2)	7	26	火	講話 演習	実践発表					
	(3)	8	10	金	講話 演習	・アクティブ・ラーニングを深めるためのネクストステージ ・構内普及のための研修デザインの基礎					
	(4)	9	23	金	講話 演習	研修プランの組み立て、作成したプランの発表					
	(5)	11	30	水	授業参観	公開授業					
	(6)	1	20	金	講話 演習	・研修の完成、研修リハーサル ・研修ファンリレーション					
	(7)	2	15	水	講話	公開研修の実施、本年度のまとめと次年度へ向けて					

(3) 経験年数に応じた研修(経験年数別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
1年目教員必修研修	第1回	4	19	火	講話	尼崎の教育, 尼崎のICT環境, 教職員の接遇, 研修の概要	HV教育エンタープライズ 代表 教育総合センター 総括 教育総合センター 指導主事	橋場 由見子 重信 親秀 兒玉 崇	87
	第2回・小	5	10	火	講話	学習指導の基礎と学習集団づくり, 理科の学習指導	教育総合センター研修担当 総括, 指導主事	重信 親秀 相方 伸二	32
		5	31	火	講話		七松小学校 尼崎市マイスター認定教員	中田 真一	30
	2回中	5	24	火	講話	学習指導の基礎と学習集団づくり, 教科の指導	教育総合センター研修担当 指導主事	井上 雅登 田中 かおり	16
	第3回小	5	24	火	講話 演習	校務支援システムの活用 情報モラル教育	教育総合センター 情報教育担当 指導主事	兒玉 崇	31
		5	31	火	講話 演習				31
	3回中	5	10	火	講話 演習	校務支援 教科指導におけるICTの活用	教育総合センター 情報教育担当 指導員	東江 潤	16
	第4回	6	7	火	講話	尼崎養護学校の授業参観・体験研修 インクルーシブ教育 授業のユニバーサルデザイン化	尼崎養護学校 校長 尼崎養護学校 教諭	吉本 稔 宮下 剛	42
		6	14	火	講話				特別支援教育担当 係長
	第5回	6	21	火	講話	教育相談, カウンセリングマインド, 授業実践研修	教育相談担当 係長 武庫南小学校 尼崎市マイスター認定教員	岡本 薫 中野 穰	78
	第6回	6	28	火	講話	学校事故・アレルギー疾患への対応, 国語科の指導(小) 教科の指導(中)	学校保健課 保健安全担当 学校保健課 小学校給食担当 ブール学院大学 准教授 教育総合センター	馬場 直子 亀谷 麻紀 今宮 信吾 授業改善アドバイザー	78
	7回小	7	26	火	講話	特別活動 授業実践研修	下坂部小学校 校長 教育総合センター 教育総合センター	今村 七美 指導主事 授業改善アドバイザー	63
	7回中	7	27	水	講話	特別活動 授業実践研修	元 南武庫之荘中学校 校長 立花中学校教頭 小園小学校教頭 教科等指導員 中央中学校 主幹教諭 教育総合センター	棚窪 哲司 中岡 禎雄 土高 伸也 山本 尚史 授業改善アドバイザー	17
	第8回小	9	13	火	講話 演習	救命救急法体験研修 教科指導におけるICTの活用	尼崎市北部防災センター	職員	27
		10	11	火	講話 演習				教育総合センター 情報教育担当 係長
	8回中	9	13	火	講話 演習	救命救急法体験研修 教科指導におけるICTの活用	尼崎市北部防災センター 教育総合センター 情報教育担当 指導員	職員 東江 潤	17
	9回小	9	27	火	講話	学級経営, 授業実践研修, 算数科の指導	尼崎市教育委員 関西大学初等部 教諭 教育総合センター総括, 指導主事	仲島 正教 尾崎 正彦	61
	9回中	9	27	火	講話	学級経営 教科の指導	尼崎市教育委員 教育総合センター	仲島 正教 授業改善アドバイザー	15
	10回小	10	4	火	講話	尼崎の歴史, 社会体験研修報告会, 体育科の学習指導	地域研究史料館 館長 尼崎北小学校 教諭 尼崎市マイスター認定教員	辻川 敦 田本 裕之	62
	10回中	10	4	火	講話 演習	尼崎の歴史 社会体験研修報告会 主体的・協働的な学習	地域研究史料館 館長 大阪教育大学 大学院 准教授	辻川 敦 寺嶋 浩介	19
	第11回小	11	1	火	講話 授業参観	授業実践研修 代表者による算数科公開授業 (武庫東小学校2年生)	教育総合センター 総括 教育総合センター 指導主事 教育総合センター	重信 親秀 相方 伸二 授業改善アドバイザー	21
		11	8	火	講話 授業参観	授業実践研修 代表者による算数科公開授業 (大庄小学校3年生)			21
		11	15	火	講話 授業参観	授業実践研修 代表者による算数科公開授業 (竹谷小学校4年生)			21
	第11回中	11	1	火	講話 授業参観	授業実践研修 公開授業 事後研究	学校教育課 学校体育担当 係長 教育総合センター	徳山 壮一 授業改善アドバイザー	4
11		8	火	講話 授業参観	授業実践研修 公開授業 事後研究	立花中学校教頭 教育総合センター	中岡 禎雄 授業改善アドバイザー	7	
11		15	火	講話 授業参観	授業実践研修 公開授業 事後研究	小園小学校教頭 教科等指導員 中央中学校 主幹教諭 教育総合センター	土高 伸也 山本 尚史 授業改善アドバイザー	4	
12回小	11	29	火	講話	生徒指導 「特別の教科 道徳の指導」	生徒指導担当 指導主事 兵庫県立教育研修所 義務教育研修課	堀田 宗敬 主任指導主事 指導主事	62	

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
1年目教員必修研修	12 回中	11	29	火	講話	生徒指導担当 係長 兵庫県立教育研修所 義務教育研修課	阪本 一郎 主任指導主事 指導主事	16	
	13 回小	1	31	火	講話 演習	学習者理解・学習指導のための教育評価、 外国語活動の指導	兵庫教育大学 教授 関西大学 教授 ミネルヴァインテリジェンス	黒岩 督 今井 裕之 所属講師	61
	13 回中	1	31	火	講話	学習者理解・学習指導のための教育評価、 教科の指導	兵庫教育大学 教授 教育総合センター	黒岩 督 授業改善アドバイザー	16
	第 14 回	2	7	火	講話	他業種に学ぶ 初任者研修の成果と課題・ 2年次研修に向けて	丸一興業株式会社 代表取締役 教育総合センター研修担当	田中 則彰 指導主事	80
2年次教員研修	1 回小	5	20	金	講話	授業力向上研修 共通研修 (少人数グループ編成等)	教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター	山村 定美 井上 雅登 他指導主事	47
	1 回中	5	13	金	講話 演習	授業力向上研修 共通研修	教育総合センター	授業改善アドバイザー	11
		5	16	月	講話 演習	授業力向上研修 共通研修	教育総合センター	授業改善アドバイザー	11
	2 回小 中 特	6	29	水	講話	生徒指導上の課題解決に向けて ストレスとストレスマネジメント	生徒指導担当 指導主事 兵庫県スクールカウンセラー	石本 将史 西本 由美	72
	3 回小	通年 各日			講話	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	教育総合センター研修担当	井上 雅登 他指導主事	*
	3 回中	7	27	水	講話	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	立花中学校教頭 小園小学校教頭 教科等指導員 中央中学校 主幹教諭 学校教育課 学校体育担当 係長 教育総合センター	中岡 禎雄 土高 伸也 山本 尚史 徳山 壮一 授業改善アドバイザー	22
	4 回小	通年 各日			講話	授業力向上研修 公開授業と事後研修	教育総合センター研修担当	井上 雅登 他指導主事	*
	4 回中	11	1 8 15	火	講話	授業力向上研修 公開授業と事後研修	立花中学校教頭 小園小学校教頭 教科等指導員 中央中学校 主幹教諭 学校教育課 学校体育担当 係長 教育総合センター	中岡 禎雄 土高 伸也 山本 尚史 徳山 壮一 授業改善アドバイザー	22
	希望日により 訪問指導			講話	授業力向上研修 マンツーマン研修	教育総合センター研修担当	井上 雅登 他指導主事	*	
3年次教員研修	1 回小	5	17	火	講話 演習	授業力向上研修 共通研修 (少人数グループ編成等)	教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター	小笹 雅幸 他指導主事	58
	1 回中	5	13	金	授業参観	授業力向上研修 共通研修	教育総合センター	授業改善アドバイザー	11
		5	16	月	授業参観	授業力向上研修 共通研修	教育総合センター	授業改善アドバイザー	19
	2 回小	通年 各日			講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	教育総合センター研修担当	田中 かおり 他指導主事	63
	2 回中	7	27	水	講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	立花中学校教頭 小園小学校教頭 教科等指導員 中央中学校 主幹教諭 学校教育課 学校体育担当 係長 教育総合センター	中岡 禎雄 土高 伸也 山本 尚史 徳山 壮一 授業改善アドバイザー	22
	3 回小	通年 各日			講話 授業参観	授業力向上研修 公開授業と事後研修	教育総合センター研修担当	田中 かおり 他指導主事	63
	3 回中	11	1 8 15	火	講話 授業参観	授業力向上研修 公開授業と事後研修	立花中学校教頭 小園小学校教頭 教科等指導員 中央中学校 主幹教諭 学校教育課 学校体育担当 係長 教育総合センター	中岡 禎雄 土高 伸也 山本 尚史 徳山 壮一 授業改善アドバイザー	22
4年目教員研修	通年			講話 授業参観	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等)	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導教官とする。		*	
5年次相当教員研修	通年			講話 演習	授業力・指導力向上研修	各自研修に参加			
7年目教員研修	第 1 回	1	23	月	講話	中堅教員としての職務 (組織としての役割等)	潮小学校 教諭	松本 隆範	51
	第 2 回	2	22	水	講話	尼崎の未来を託す	立花小学校 校長	入江 やよい	55

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
10年経験者研修	5	11	水	講話	共通研修	尼崎市立園田東小学校 元校長 兵庫県スクールカウンセラー	上玉利 敏昭 西本 由美	51
	通年 各日			講話	任意の研修を選択(マイスター教員による公開授業研修講座1つは必修)	教育総合センター 生徒指導担当課 指導員・指導主事		*
15年次相当教員研修	通年			講話	ミドルリーダーとしての資質向上 (今日的な教育課題等)	各自研修に参加		
20年目教員研修	通年			講話	任意の研修を2つ選択	各自研修に参加		11
管外転入教員研修	4	27	水	講話	本市の教育課題とこれまでの取組 「管外転入教員に期待すること」	学校教育部 部長	平山 直樹	12

2 希望による研修(専門研修)

(1) 教育課題等への対応研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
人権教育研修講座	(1)	7	25	月	講話	多文化共生社会の実現に向けて	龍谷大学 経営学部 教授	李 洙任	151
	(2)	8	23	火	講話	LGBTへの理解を深める	宝塚大学看護学部 教授	日高 庸晴	150
	(3)	8	29	月	講話	これからの人権教育 ～ハンセン病回復者の半生から学ぶ～	徳島県教育委員人権教育指導員 会長 ハンセン病支援協会会員阿波市民劇団	十川 勝幸 劇団「千の舞座」	180
食育研修講座	12	16	金	講話	「食育指導の充実 ～食から子どもたちを育てる～」	武庫川女子大学 専任講師	藤本 勇二	41	
子ども理解のための研修講座	(1)	8	18	木	講話	生徒指導、不登校児童生徒支援について	元兵庫県立高等学校長 特定非営利活動法人 こあら理事	正岡 茂明	61
	(2)	8	9	火	講話	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応実践事例を通じた子ども理解	神戸松蔭女子学院大学	坂本 真佐哉	56
	(3)	12	7	水	講話	子ども・家庭の力を引き出す面接とは～家庭・魔法からのヒント～	兵庫県立教育研修所 心の教育総合センター 指導主事	寺戸 武志	19
学級経営研修講座	8	18	木	講話	振り返ろう、自分の学級づくり、授業づくり チェックポイント50	赤穂市立尾崎小学校 教頭	古川 光弘	59	
一般教養研修講座	8	25	木	講話	ユニークな人材育成	株式会社みつば電気 代表取締役社長	岡本 光代	51	
学校飼育動物研修講座	7	7	木	講話	小動物の取り扱いについての留意点	尼崎市開業獣医会 院長 他4名の職員	田中 律正	12	
小学校ICT活用研修講座(実践)	(1)	8	9	火	講話 演習	スマートフォン・SNS等の適切な利用について	教育総合センター 情報教育担当指導員	児玉 崇	21
	(2)	8	9	火					17
小学校ICT活用研修講座(基本)	7	29	金	講話 演習	コンピュータ室の機器を活用した授業について	教育総合センター 情報教育担当指導員	児玉 崇	18	
中学校ICT活用研修講座	7	29	金	講話 演習	コンピュータ室の機器を活用した授業について	教育総合センター 情報教育担当指導員	東江 潤	7	
校務支援システム活用研修講座(小学校)	初	8	2	火	講話 演習	スズキ校務による名簿作成・成績処理等について *2回のうち、1つを受講すること	教育総合センター 情報教育担当指導員	児玉 崇	26
	上	8	2	火					15
校務支援システム活用研修講座(中学校)	初	8	3	水	講話 演習	スズキ校務による名簿作成・成績処理等について *2回のうち、1つを受講すること	教育総合センター 情報教育担当指導員	東江 潤	14
	上	8	3	水					11
CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	8	19	金	講話 演習	学校・園のホームページ作成研修講座 *2回のうち、1つを受講すること	教育総合センター 情報教育担当指導員	東江 潤	12	

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修(授業力向上研修講座)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
スタートカリキュラムづくり研修講座	(1)	8	26	金	講話	幼児教育から学ぶカリキュラムづくり	関西国際大学 講師	棕田 善之	19
	(2)	7	22	金	講話	～子どもをつなぐ眼差し～ ～子ども・ぞうけいあそび～	尼崎市立大島小学校	大津 雅子	35
	(3)	8	24	水	講話	保幼小連携から考える教師の役割 ～音楽遊びを主として～	佛光大学 教育学部 教授	高見 仁志	53

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
国語科教育研修講座	(1)	8	10	水	講話	筆者の工夫を見つける説明文教材分析の方法と実際	鳴門教育大学大学院 教授	幾田 伸司	115
	(2)	8	4	木	講話 演習	メディアを活用した国語科授業～アクティブ・ラーニングの視点から～	兵庫教育大学大学院 准教授	羽田 潤	56
	(3)	3	9	木	講話	学びの文脈を創るアクティブ・ラーニングの推進	大妻女子大学 家政学部 准教授	樺山 敏郎	69
図書館教育研修講座	8	29	月	講話	多様な読書活動のための授業のアイデア	帝塚山学院大学・奈良教育大学 非常勤講師	曲里 由喜子	33	
社会科教育研修講座	8	17	水	講話 演習	思考を鍛えて知識・理解を定着させよう 小中連携を視野に入れて	教育総合センター 元 授業改善アドバイザー	倉橋 忠	26	
算数科教育研修講座	8	3	水	講話	クラス全員をアクティブにさせる算数授業の創り方	筑波大学附属小学校 主幹教諭	田中 博史	206	
数学科教育研修講座	2	2	木	講話	数学的活動を通して、思考力、判断力、表現力を高める授業づくり	神戸女子大学 准教授	穴田 恭輔	24	
理科教育研修講座	(1)	7	22	金	講話	理科実験で活かせる指導のポイント～電気の利用～	三菱電機株式会社 電力・産業システム事業本部	大角 智 他8名	22
	(2)	8	24	水	講話	〔中学校教員向け〕ICT活用を通じた理科教育の可能性	教育総合センター 情報教育担当指導員	東江 潤	14
音楽科教育研修講座	8	4	木	講話	低・中学年の音楽の授業づくり ～楽器の導入や楽しく取り組める合唱奏～	滋賀県総合教育センター 所長	佐敷 恵威子	51	
図工・美術科教育研修講座	8	8	月	講話	身体とものとの行為が出会う・そこから始まる ワクワクする世界へ	大阪教育大学 教授	佐藤 賢司	45	
体育科教育研修講座	(1)	7	22	金	演習	水泳指導で気をつけておきたいこと	尼崎市スポーツ振興事業団	坂根 徹 太田 圭美	21
	(2)	8	19	金	演習	〔中学校教員向け〕体育指導(柔道)で気をつけておきたいこと	県立尼崎稲園高等学校 教諭	藤原 正徳	17
技術・家庭科教育研修講座	5	23	月	講話	技術・家庭科における授業デザインと評価のあり方	兵庫教育大学大学院 教授	森山 潤	21	
英語科教育研修講座	8	22	月	講話	「カリキュラムデザインとクラスルームイングリッシュ」/「教科書で英語を教える授業アイデア」/ 「外国語活動と英語科」	大阪樟蔭女子大学 教授	菅 正隆 他4名	47	
道徳教育研修講座	(1)	8	5	金	講話	生き方を考え、楽しさを実感できる道徳の授業づくり	貝塚市立南小学校 校長	川崎 雅也	109
	(2)	11	24	木	講話	道徳の授業の充実	京都府南丹教育局 指導主事	中倉 良希	33
ライフスキル 教育研修講座	(1)	8	25	木	講話 演習	ライフスキルで進めるキャリア教育 *2日連続で受講	津市立西橋中学校 教諭 ライオンズクエスト認定講師	寺本 之人	10
	(2)	8	26	金					
総合的学習研修講座	8	25	木	講話	「食品ロスとフードバンク活動」/「もったいない! 食べ物を大切に」	NPO法人フードバンク関西 理事長 NPO法人C.キッズネットワーク 理事長	浅葉 めぐみ 大森 節子	42	
特別活動研修講座	8	18	木	講話	アクティブ・ラーニングを取り入れた 特別活動の指導のあり方	シチズンシップ共育企画代表 学校教育課人権担当 係長	川中 大輔 田邊 亘	16	
高等学校に関する研修	1	27	金	講話	教育制度改革に向けての教育現場の実践例	関西学院大学 教授	五百住 満	32	
マイスター教員による 公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)	(1)	9	20	火	講話 授業参観	小学校英語からのスムーズな接続を目指して	武庫中学校	岡村 美保子	中止
	(2)	10	7	金		音読で子どもを育てる	園田小学校	佐藤 隆史	15
	(3)	10	12	水		理科の授業づくり	園田中学校	松島 修	7
	(4)	10	18	火		自然を観る	成徳小学校	江形 拓也	10
	(5)	10	28	金		理科授業の新展開	七松小学校	中田 眞一	13
	(6)	11	10	木		協働学習について	大庄中学校	富田 弘文	7
	(7)	11	18	金		豊かな感性を育む～伝統音楽を通して～	成良中学校	坪井 美津子	6
	(8)	11	24	木		授業づくりについて	園和北小学校	青木 一朗	6
	(9)	11	25	金		めざせ! 全員理解の授業	武庫南小学校	中野 穰	26
	(10)	11	28	月		みんなで考える	大庄北中学校	伊藤 美幸	10
	(11)	12	6	火		体育学習で大切にしたいこと	尼崎北小学校	田本 裕之	30
	(12)	1	26	木		よりよい表現をめざして	潮小学校	福田 裕美	33
	(13)	1	30	月		卒業を前に世話になった人に絵手紙を綴ろう	立花中学校	小島 絹江	5
【春の特別研修】 子どもの笑顔輝く 学級開き・授業開き 準備講座	(1)	3	28	火	講話	笑顔があふれ 子どもとつながる	園田小学校 マイスター認定教員	佐藤 隆史	126
						子どもをつなげる 国語授業開き	七松小学校 マイスター認定教員	中田 眞一	
						子どもの興味をつなぐ理科の展開	尼崎北小学校 マイスター認定教員	田本 裕之	
	(2)	3	29	水	講話	4月からはじめる楽しい体育	尼崎市教育委員	仲島 正教	108
						心が躍る学級開き～4月のワザワザ～	園和北小学校 マイスター認定教員	青木 一朗	
						社会科で子どもの心をつかむ	武庫南小学校 マイスター認定教員	中野 穰	
						これでバッチリ! 全員理解の算数授業	下坂部小学校 校長	今村 七美	
						学級活動ははじめの一歩	尼崎市教育委員	仲島 正教	
教育研究発表会	各部会で随時			講話 参観	教育総合センター研究発表会	専任講師 フール学院大学 准教授 今宮信吾 氏 関西大学初等部 教諭 尾崎正彦 氏 関西大学外国語学部 教授 今井裕之 氏 大阪教育大学大学院准教授 寺嶋浩介 氏 関西国際大学 准教授 百瀬和夫 氏 教育総合センター指導員・指導主事・研究員			

1 1 平成28年度 教育研究部会の概要報告

1 小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会 アクティブ・ラーニングに焦点をあてて

専任講師 今 宮 信 吾

(プール学院大学教育学部教育学科 准教授)

指導主事 井 上 雅 登

研 究 員	池 淵 香 奈	(明 城 小)	前 田 智 子	(立 花 北 小)
"	浦 川 祐 子	(難 波 小)	喜 多 淳 子	(名 和 小)
"	森 大 祐	(難 波 の 梅 小)	高 田 亜 里 紗	(塚 口 小)
"	菅 原 咲 樹	(竹 谷 小)	尾 定 美 咲	(尼 崎 北 小)
"	高 原 有 子	(下 坂 部 小)	坂 本 肇	(水 堂 小)
"	森 田 美 紀	(潮 小)	四 方 佑 季	(七 松 小)
"	後 藤 摩 耶	(長 洲 小)	西 村 信 作	(武 庫 小)
"	志 水 昌 彦	(清 和 小)	立 半 博 満	(武 庫 南 小)
"	荒 木 裕 亮	(杭 瀬 小)	佐 野 竜 也	(武 庫 南 小)
"	村 瀬 秀 代	(浦 風 小)	井 上 彩 子	(武 庫 北 小)
"	森 本 祥 一	(金 楽 寺 小)	東 田 明 子	(武 庫 東 小)
"	足 立 友 美	(浜 小)	大 皿 紗 代	(武 庫 庄 小)
"	松 田 伸 子	(大 庄 小)	増 田 美 伊	(武 庫 の 里 小)
"	嘉 原 智 子	(成 文 小)	佐 藤 隆 史	(園 田 小)
"	江 形 拓 也	(成 徳 小)	瀧 本 晋 作	(園 田 北 小)
"	石 崎 絵 美	(わ か ば 西 小)	林 誉 子	(園 和 小)
"	武 市 瑞 代	(大 島 小)	園 里 奈	(園 和 北 小)
"	野 口 雅 子	(浜 田 小)	井 本 淳 子	(園 田 東 小)
"	宇 都 亨	(立 花 小)	柳 畑 達 也	(上 坂 部 小)
"	福 永 秀 美	(立 花 南 小)	和 田 隆 太	(小 園 小)
"	田 村 み ず き	(立 花 西 小)	濱 聡 美	(園 田 南 小)

【内容の要約】

昨年度、小学校教員を対象に、「教師の授業力向上研修講座(国語科)」として、思考力・表現力を鍛える国語科授業を構築できることを目標にした講座を展開した。そして今年度新たに、「アクティブ・ラーニング」を中心に据えた部会として、「小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会」を立ち上げ、進めることとなった。学習指導要領改訂に伴って、国語科教育における新たな方向性が打ち出されようとしている現在、市内の各小学校から選任された教員が一堂に会し、実際に「アクティブ・ラーニング」を体験し、身につける良い機会となった。専任講師として、プール学院大学 准教授 今宮 信吾 氏(前 関西大学初等部 教諭)を招聘し、講話・演習はもとより、小学校での公開授業における指導助言等を行っていただいた。

2 小学校算数科教育アクティブ・ラーニング部会 アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び) で創る算数科の授業を目指して

専任講師 尾 崎 正 彦

(関西大学初等部 教諭)

指導主事 相 方 伸 二

研 究 員	友 居 秀 行	(明 城 小)	原 田 誠 久	(名 和 小)
"	日 高 千 佳 子	(難 波 小)	田 淵 千 尋	(塚 口 小)
"	中 尾 武 史	(難 波 の 梅 小)	杉 村 公 大	(尼 崎 北 小)
"	山 下 翔 伍	(竹 谷 小)	貝 畑 健 太	(水 堂 小)
"	竹 内 義 明	(下 坂 部 小)	野 川 啓	(七 松 小)
"	安 田 稔	(潮 小)	中 村 隆 文	(武 庫 小)
"	福 森 愛 子	(長 洲 小)	木 口 範 彦	(武 庫 南 小)
"	長 門 純 子	(清 和 小)	植 松 大 輔	(武 庫 南 小)
"	山 本 由 香 里	(杭 瀬 小)	田 久 保 佑 弥	(武 庫 北 小)
"	山 本 正 貴	(浦 風 小)	吉 向 良 太	(武 庫 東 小)
"	丸 橋 弘 和	(金 楽 寺 小)	浅 野 尚 子	(武 庫 庄 小)
"	山 田 慎 哉	(浜 小)	花 岡 祐 介	(武 庫 の 里 小)
"	品 田 雄 一 朗	(大 庄 小)	由 良 健 一	(武 庫 の 里 小)
"	藤 田 素 子	(成 文 小)	寺 岡 純 子	(園 田 小)
"	齋 藤 宏 之	(成 徳 小)	坂 本 和 也	(園 田 北 小)
"	安 部 裕 子	(わ か ば 西 小)	犬 持 卓 也	(園 和 小)
"	井 上 慧	(大 島 小)	亀 岡 優 子	(園 和 小)
"	橋 本 則 子	(浜 田 小)	岡 本 光 希	(園 和 北 小)
"	玉 置 智 香	(立 花 小)	湯 浅 直 幸	(上 坂 部 小)
"	大 久 保 由 美 子	(立 花 南 小)	藤 田 孝 幸	(小 園 小)
"	小 野 裕 未	(立 花 西 小)	小 西 崇 久	(園 田 南 小)
"	井 實 康 了	(立 花 北 小)		

【内容の要約】

本研究部会では、算数科における「授業改善」を図り、「アクティブ・ラーニング」(主体的・対話的で深い学び)で創る授業を構築していく上で、以下のような実践に取り組んだ。

目標とする「授業像」「子ども像」を明確にする。

・専任講師による継続した指導をもとに、自分の授業の問題点を自覚化する。

教師自身がアクティブな学びを体験できる参加型の研修を設定する。

・教材を研究する力、教材提示や指導技術等の実践的な授業力を身につける。

・「授業を観る力」,「子どもを観る力」を鍛え,「授業を創る力」に直結させる。

・各自が授業実践を持ち寄り,交流する。

代表者による公開授業を年間2回設定する。

3 中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会 アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び） の授業づくりを通して」 「アクティブ・ラーニング」の授業実践と校内研修等の実施

専任講師 寺 嶋 浩 介
 （大阪教育大学大学院准教授）

情報教育担当係長 民 谷 洋 二

研 究 員	和 田 康 伸	（ 成 良 中 ）	竹 中 葉 月	（ 立 花 中 ）
”	大 西 勝 也	（ 中 央 中 ）	藤 平 玲	（ 塚 口 中 ）
”	濱 石 龍	（ 日 新 中 ）	笹 脇 正 勝	（ 武 庫 中 ）
”	酒 井 勝 広	（ 小 田 中 ）	鋤 原 輝 明	（ 南 武 庫 之 荘 中 ）
”	辰 雄 一	（ 小 田 北 中 ）	井 上 範 子	（ 武 庫 東 中 ）
”	窪 野 春 生	（ 大 成 中 ）	大 久 保 陽 造	（ 常 陽 中 ）
”	城 仁 史	（ 大 庄 中 ）	谷 川 和 広	（ 園 田 中 ）
”	前 川 淳	（ 大 庄 北 中 ）	和 田 健	（ 園 田 東 中 ）
”	米 原 恵	（ 大 庄 北 中 ）	和 田 健 志	（ 小 園 中 ）

【内容の要約】

中学校の「アクティブ・ラーニング授業実践部会」では、次の2点を大きなねらいとした。アクティブ・ラーニングの授業づくりを通して、その重要なポイントを明確化することができる。

上記の視点をもとに、教員向けの研修等をデザインし、実施することができる。

市内全中学校から推薦された部員により組織された部会を通して、以下のような活動に取り組む。

「アクティブ・ラーニング実践のファーストステップ」について学ぶ。

自らが「アクティブ・ラーニング」を授業で実践する。

「アクティブ・ラーニング実践のネクストステージ」について学ぶ。

部会での内容等を広めるため、校内研修をデザインし、実施する。

自分以外の教員（できれば他教科）も巻き込んで、「アクティブ・ラーニング」の授業実践を広める。

アクティブ・ラーニング授業実践の公開授業を実施する。

アクティブ・ラーニング授業実践の先進校視察を実施する。

4 外国語活動研究部会 小学校外国語活動における文字（アルファベット）の効果的な指導法を探る

専任講師 今 井 裕 之
 （関西大学外国語学部 教授）

指導主事	清	水	康	弘
研究員	山	本	宣	忠（園和北小）
”	篠	原	亜	衣（大庄小）
”	阪	本	千	文（武庫東中）
”	大	澤	奈	緒子（常陽中）

【内容の要約】

昨年度より当教育総合センターでは、全小学校教員を対象とした外国語活動の研修を開催している。その結果、コミュニケーションの楽しさをあじわうことができる外国語活動の学習に関しては、多くの小学校で成果が上がってきているところである。

しかし、2020年度からの教科化にともない、これまで行われていなかった外国語活動の目標として「聞くこと・話すこと（やりとり）・読むこと・書くこと」の4技能5領域の習得があげられているが、本年度は「評価」する際に特に重要となるであろう「書くこと」に視点をおき、児童たちがストレスを感じないで正確にアルファベットを書くことができるためにはどのような手法があるかについて調査・研究していった。

5 授業のユニバーサルデザイン化研究部会 すべての子どもが「楽しく・わかる・できる」を目指して 工夫する授業のデザイン

専任講師	百	瀬	和	夫 (関西国際大学 准教授)
指導主事	田	中	か	おり
研究員	小	杉	宏	美（清和小）
”	太	田	宏	樹（立花小）
”	東	田	直	久（武庫東小）
”	福	田	美	香（園田南小）
”	田	邊	奈	緒美（中央中）

【内容の要約】

教室でともに学ぶ子どもたちの中には、各学年において、特別な支援を必要としている子どもがいる。学習面や行動面で何らかの困難を示す子どもを含むすべての子どもにとってわかりやすいように配慮した授業や指導方法の工夫を考えていくことは、わかりやすい授業につながる。

本研究では、特別支援教育の視点を導入した授業実践を通して、「どのような手立てをすれば、すべての子どもにとって『わかる』授業になるのか」「どうすればすべての子どもが『できる』授業になるのか」等の指導の工夫と共に、「子どもの多様性を踏まえた学級づくり」について、「ユニバーサルデザイン化」をめざし、子どもの姿を通して研究・実証することとした。

1 2 児童生徒文化充実支援事業の実施報告

児童生徒の個性の伸長、学習への興味・関心・意欲の向上を図るため、児童生徒の研究、調査、発表などの文化的活動を奨励支援する行事を開催いたしました。

- 1 中学校・高等学校合同音楽会（平成 28 年 10 月 25 日 あましんアルカニックホール）
小学校音楽会（平成 28 年 11 月 9・10 日 あましんアルカニックホール）

- 2 幼児画展・図工展・美術展
（平成 29 年 2 月 1 日～2 月 5 日
総合文化センター美術ホール）



- 3 演劇発表会（平成 29 年 1 月 22 日 ピッコロシアター）
- 4 書道展（平成 29 年 1 月 25 日～1 月 29 日 総合文化センター美術ホール）
- 5 なかよし作品展（平成 29 年 1 月 25～1 月 30 日 総合文化センター美術ホール）
- 6 英語祭（平成 28 年 10 月 28 日 旧聖トマス大学 学生会館）
- 7 特別支援学級卒業生を送る会（平成 29 年 2 月 25 日 武庫地区会館）
- 8 スピーチフェスティバル（平成 29 年 2 月 9 日 旧聖トマス大学 学生会館）
- 9 放送・映画感想文コンクール表彰式（平成 29 年 2 月 4 日 中央公民館）
- 10 中学校読書感想文発表会
（平成 28 年 10 月 31 日 旧聖トマス大学 学生会館）
小学校読書感想文・感想画発表会
（平成 28 年 12 月 2 日 旧聖トマス大学 学生会館）
- 11 中学校理科作品展・研究発表会
（平成 28 年 9 月 3 日～16 日 旧聖トマス大学 学生会館）
創意工夫展（平成 28 年 9 月 9 日～13 日 青少年センター）
児童理科研究発表会（平成 28 年 10 月 27 日 旧聖トマス大学 学生会館）
- 12 中学校社会科作品展（平成 28 年 9 月 24 日～9 月 30 日 中央公民館）
- 13 小学校家庭科作品展（平成 28 年 9 月 14～15 日 青少年センター）
技術科・家庭科作品展（平成 29 年 2 月 18～19 日 青少年センター）

1 3 平成 2 8 年度 視聴覚センター事業報告

(1) 研修事業報告													
16ミリ映写機操作技術講習会 (参加人数 4人)													
月	日												
10	21	演習「16ミリ映写機の操作法」											
2	23	演習「16ミリ映写機の操作法」											
(2) 視聴覚ライブラリー利用状況													
受付件数													
学校関係	3	学校関係: 公私立の幼稚園・小・中・高等学校・大学等											
公共団体	5	公共団体: 学校以外の公共機関・児童館・児童ホーム・保育所等											
民間団体	2	民間団体: 各学校PTA・子ども会・自治会・地域団体・老人会等											
個人	1	個人: 個人登録者											
計	11												
利用人数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児	0	0	0	2	48	0	0	0	0	0	0	0	50
小学生	0	0	0	12	1,097	0	0	0	0	0	0	0	1,109
中学生	0	0	0	0	15	300	0	0	0	0	0	0	315
高校生	0	0	0	0	15	0	0	0	1,050	0	0	0	1,065
一般	0	0	0	90	155	40	0	0	24	0	0	0	309
計	0	0	0	104	1,330	340	0	0	1,074	0	0	0	2,848
教材・教具別貸出状況													
(台) / (巻)													
16ミリ映写機	スライド映写機	液晶プロジェクター	DVDプレーヤー	OHP	スクリーン	暗幕	合計						
3	0	0	0	0	1	0	4						
16ミリフィルム	ビデオテープ	スライドフィルム	TP	CD教材	DVD教材	合計							
12	8	0	0	0	6	26							

1 4 平成 2 8 年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日 9:00 ~ 21:00 (但し, 土曜日, 日曜日は閉館)
	展示教科書	小学校 昭和 40 年以降の教科書 中学校 昭和 37 年以降の教科書 高等学校 昭和 45 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書
2 法定展示	開館時間	平成 28 年 6 月 17 日 ~ 平成 28 年 7 月 6 日 (但し, 土曜日, 日曜日は閉館)
	展示教科書	平成 27 年度 ~ 平成 30 年度使用小学校用教科書 平成 28 年度 ~ 平成 31 年度使用中学校用教科書 平成 29 年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書

1 5 平成 2 8 年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集 (保有数)		
・ 教育関係図書		13970 冊
・ 教育関係資料 (研究紀要・報告書)		8003 冊
・ 雑誌収集		12 タイトル
2 教育広報活動		
・ 「教育総合センターだより」	140 ~	143
(平成 28 年 5 月, 9 月, 12 月, 平成 29 年 3 月の年 4 回発行)		
・ 「教育あまがさき」	第 78 号 ~	第 79 号
(平成 28 年 10 月, 平成 29 年 3 月の年 2 回発行)		
3 各種刊行物の発行		
・ 教育研究報告書		紀要 54 号

(様式3)

第 号
平成 年 月 日

尼崎市立教育総合センター
教職員の学び支援課長 様

校・園名 尼崎市立
校・園長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

- 1 研修・研修講座名 _____
- 2 研修実施日 平成 年 月 日 ()
- 3 対象者名 _____
- 4 欠席理由 校務の場合、本人でなければならない理由を明記する。

以 上